

※ 今週のアウトルック (5/28~6/1)

先週は週中盤までは、ドル買いの勢いが強くドル高が進みましたが、中盤から後半にかけては、通貨ペアごとに動きがまちまちとなりました。

今週は週末に米国雇用統計の発表を控え、様子見的な動きも予想されますが、この所のドル高による利益確定が優勢的な動きとなった場合には、ドル売り優勢となってしまう可能性もいささかあるように思います。

先週ドル円は111円付近のレジスタンスを完全にブレイクすることはできず、利益確定売りが優勢となり、週末には再び109円付近まで後退して終了しています。

今週は週末に米国雇用統計を控え、全般的には109円から111円のレンジ内の動きとなる可能性が強そうですが、雇用統計の結果に対する懸念ムードが強くなり、利益確定が優勢となった場合には、109円割れの可能性も考慮する必要はありそうです。

ドル円の予想レンジは107円から111円です。

ユーロ円は先週、129円付近のサポートラインを割りこんで、さらに週末には128円付近のサポートラインも割りこんで、そのままNY市場を終了しています。

今週は、週初めには利益確定から一度戻す可能性もありますが、ユーロドルが1.16付近のサポートラインを破ってしまった場合には、ユーロ円も急落する可能性を考慮する必要がありそうです。

ユーロ円の予想レンジは124円から130円です。

ポンド円も145円付近のサポートラインを割ってしまうと、141円付近まで急落の可能性が強くなるように思います。

ポンド円の予想レンジは141円から150円です。

今週は週末に米国雇用統計を控え、様子見ムードとなる可能性が高いですが、ユーロ円、ポンド円がサポートライン割れを起こした場合には、週末を待たずに急落する可能性も考慮する必要はありそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。